

イグスのデジタルイノベーション

2017年度売上高6億9000万ユーロ、前期比プラス17パーセント達成

イグスグループは、2017年度、グローバルで前期比17パーセント増の売上高6億9,000万ユーロを達成しました。その内訳は、53%がヨーロッパ、30%がアジア、17%がアメリカとアフリカで占められています。従業員数は3,800人まで増えました。同時に、製品開発や出荷能力拡大、デジタル化に向けて顕著に投資を進めました。2018年も順調に推移しており、今後もお客様の設備機器の機能向上をサポートしていきます。

イグスのモーション・プラスチック（※1）製品はベアリングやケーブルキャリアといった要素部品に留まらず、コストパフォーマンスに優れたロボット製作を実現する単独のロボット関節から、オンラインで構成可能な3Dプリントの歯車や、実働状態を持続的に監視するエナジーチェーン等もあります。その使用領域は多岐にわたり、半導体製造や、アントワープから上海に至る港湾で採用されている1,000機を超えるガントリークレーン、北極で使用される水陸両用車両などが挙げられます。いずれも可動部における技術改良やコスト削減につながっており、世界中20万を超えるお客様にそのメリットを提供しています。

グローバルな保管能力に大型投資

昨年度イグスは世界各地のお客様に製品やサービスを迅速に提供するため、北米、アジアおよびヨーロッパにおける保管能力を世界規模で大幅に拡充しました。アメリカでは倉庫兼事務所を更に5,000㎡拡大し、一方で日本やポーランド、インドでは倉庫面積を倍増しました。更に中国の上海では床面積約22,000㎡の新施設の建設を開始し、2019年に完成する予定です。販売拡大に伴い、ベルギー、デンマーク、エストニア、フランス、オーストリア、スペインの販売拠点も昨年度増強しました。また、イグス本社においても、製品の迅速なお届けを可能にするため、重点的に投資し続けています。昨年だけでも新型射出成形機約100機の運用を開始し、生産能力を大幅に向上しました。

デジタル化による先行投資

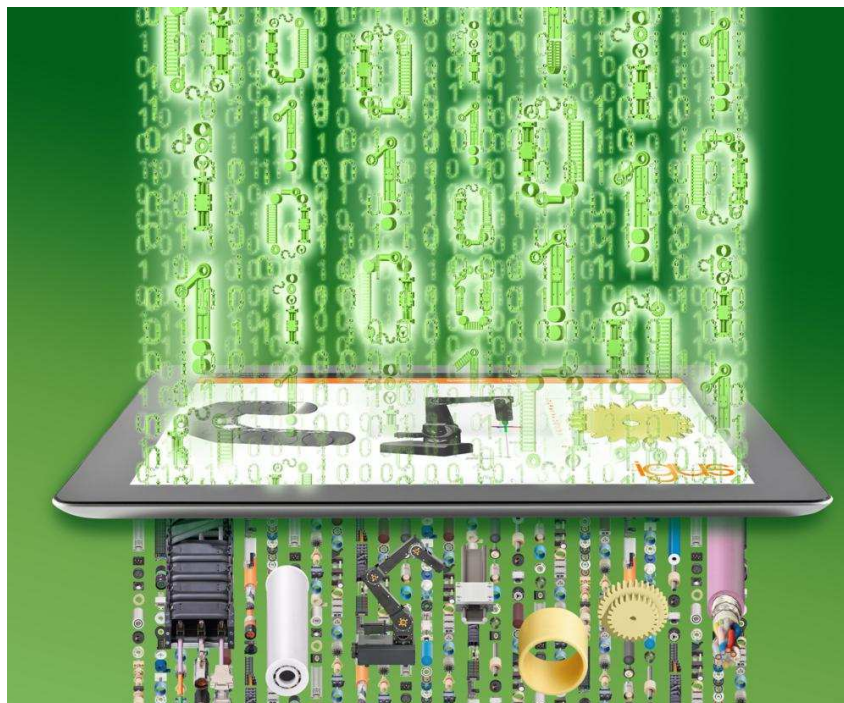
同様に、ITインフラへの投資も2014年比で4.5倍に増額しました。イグス全製品をオンラインで構成・寿命予測を可能にし、受注処理から製造、メンテナンス、サービス提供にいたる全工程をデジタル化して自動生産することを目標としています。イグスでは、これまで蓄積した50年以上のエンジニアリングプラスチックの経験や、業界

ニュースリリース

2018年9月4日

最大規模の2,750㎡の自社試験施設で得られたデータが実を結び、デジタル化はいよいよ実現段階に入りました。「広範囲にわたる研究により、樹脂製すべり軸受やリニアベアリング、歯車の他、ケーブル等の可動用機械要素部品の寿命予測までも可能にしたのです。現時点で試験データを基にした寿命予測としては世界で唯一になります」と、イグスCEOのフランク・ブラーゼは述べています。オンラインツールを活用することで、設計者はいつでもどこでも迅速かつ簡単に必要とするイグス製品を検索し、使用要件に適した製品寿命を計算できます — オンラインツールの使用は無料、会員登録は不要です。

一方で、製品自体のデジタル化も進めています。イグスは「isense」製品群により、センサーやモニタリングモジュールを装備したインテリジェントなケーブルキャリア「エナジーチェーン」やケーブル、リニアガイド、ロータリーテーブルベアリング等を実現しました。これによって、メンテナンス作業の計画が確実かつ予測可能になります。作動中に摩耗量を測定し、修理や交換のタイミングを事前に知らせます。イグス通信モジュール「icom」とのネットワーク接続により、パソコンやスマートフォンを通じてオンラインでステータス表示や警告を出すことが可能です。直接お客様の社内インフラへ統合することもできます。イグスはテストデータを基にしたインテリジェント機能によって、部品の予知保全を確立していきます。



ニュースリリース

2018年9月4日

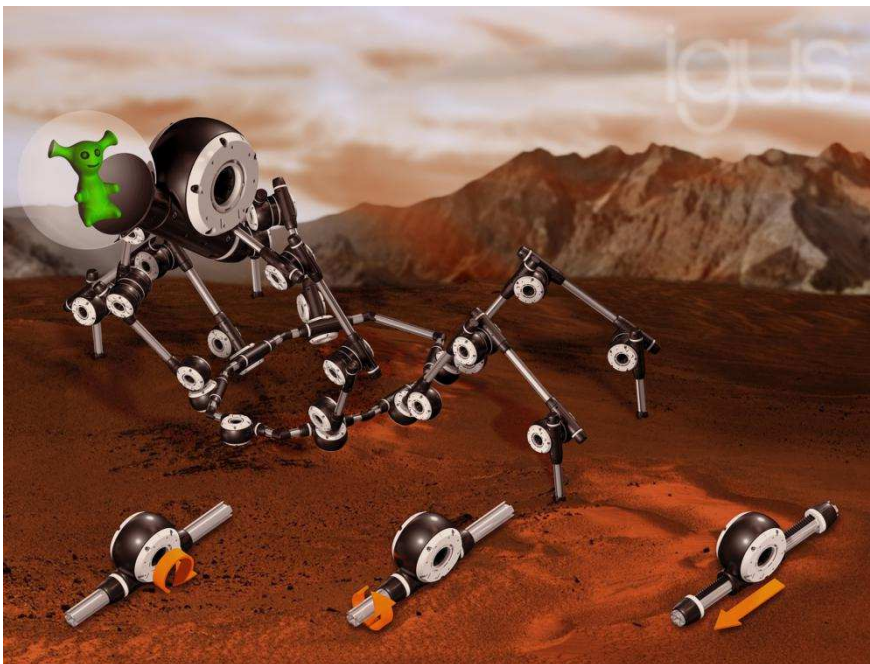
新規用途に向けた画期的なアイデア

また、イグスはエンジニアリングプラスチックに関する専門知識や評価試験、継続的な開発から、新規用途への可能性を開拓し続けています。ひとつの例が低コストロボットです。ロボティクス分野に向けた無潤滑・メンテナンスフリーの低コスト多関節ユニットのロボリンク「Apiro」(※2)を今年4月のハノーバー・メッセで紹介しました。幾つかのエレメントを装備するだけで、非常に複雑な動作や機械コンセプトが容易且つ経済的に実現します — 単純なリニアロボットからヒューマノイドロボットやアニマトロニクスロボットまで。その他多くの領域においても耐摩耗性に優れたプラスチック製部品には大きな可能性があります。

イグスは今後も、部品単体のオンラインでの構成および寿命予測から、世界規模でのプロジェクト案件の選定、組付け、設置まで、包括的なサービスを提供いたします。

(※1) モーション・プラスチック…機械可動部での使用に適したプラスチック製部品、の意

(※2) Apiro…ギリシャ語で「無限」を意味するモジュール式低コストロボット。(写真参照)



ロボリンク「Apiro」

以上

イグス株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 15 階

Tel: 03 (5819) 2030 (代表)

<https://www.igus.co.jp>

<製品についてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2500

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: helpdesk@igus.co.jp

<プレスリリースについてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2057

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: charada@igus.co.jp

次の用語、"igus", "CFRIP", "chainflex", "conprotect", "CTD", "dryspin", "dry-tech", "easy chain", "e-chain", "e-chain system", "e-skin", "flizz", "ibow", "manus", "pikchain", "readychain", "readycable", "savfe", "speedigus", "triflex", "drylin", "iglidur", "igubal", "roboLink", "xiros"は、igus® GmbH の登録商標でありドイツ連邦共和国とその他の国によって法的に保護されています。